



クリスマスに際し

校長 前田 倍成

早いもので2学期も残りわずかになりました。これからの寒い時期，コロナとインフルエンザの流行には気を緩めることができません。

それでも，クリスマスシーズンが今年もやってきました。街中ではクリスマスソングが流れ，ツリーやイルミネーションをそここで見ることができます。ご多分に漏れず，本校でも毎年この時期にはクリスマスツリーを飾っています（上記写真）。ちなみに，もみの木は常緑で，生命の象徴であり，知恵の象徴とも言われています。

日本では独自の文化を築きながら親しまれていますが，その起源は，2～4世紀の古代ローマ帝国に遡るとの説が有力なのだそうです。そして日本に持ち込んだのは，あのイエズス会宣教師フランシスコ・ザビエルなのだそう。

日本を含め世界各国で楽しみ，親しまれるクリスマスですが，多くの国々では「家族」と過ごすことが大切とされ，ともに幸せを喜び，感謝する日となっているようです。

そこで「家族」にまつわる有名なエピソードを。

貧困救済に生涯を捧げノーベル平和賞を受賞したマザー・テレサの逸話から…

あるインタビューで「世界平和のために私たちはどんなことをすべきでしょうか」との記者の質問に際し，テレサは『家に帰って家族を愛してあげてください』と答えたそうです。

そして「一人ひとりが愛情あふれる人になれば，おのずと争いは起きなくなります。世界を平和にする第一歩は，あなたの大切な人にほほ笑みかけることです」と続けました。

家族や自分の目の前の人に愛情を注ぐことが，やがて大きな世界平和の礎になると説いています。

しかし今，家族の在り方自体様々で，家族といえども，それぞれ性格も考え方も違い，価値観も多様です。別の側面では，ここ数年，児童生徒の自殺者数が全国的に増加傾向にあり，極めて憂慮すべき状況にあることが報告されています（警察庁・厚労省統計）。

そのような中でも円満な関係を続けるためには，感謝を忘れず，互いに認め合い理解する必要があります。ともあれ，このクリスマスが，家族で歓談し，絆を確かめ合い深め合える，そんな日になることを願います。

最後に，保護者の方，そして子どもたちにステキな言葉を紹介します。

『抱きしめることは本当に大きな効果をもたらすの。特に子どもたちにはね(ダイアナ妃)』

『父母の恩は，山よりも高く，海よりも深い。この恩徳に報いることは到底できないが，せめてその万分の一だけでもと，力の限り努めることを「孝行」という（上杉鷹山）』

—— 受賞おめでとうございます！ ——

【第38回県児童硬筆書写作品コンクール】

県教育委員会賞 4年 南 裕登

特選賞

1年生	南 優芽	向出 瑛祐	森 悠真	
2年生	北口 紗柳	田中 悠翔	油谷 花音	西 菜珠那
3年生	金山 稜	田島 紅音	藤本 由希葉	
4年生	堂高 柚	泉 亜優	高橋 凜	
5年生	久保 真白	栗原 志歩	舟山 莉子	
6年生	大崎 菜々子	中世 愛莉	泉 圭翼	本谷 望歩

入選賞

1年生	米沢 絃	北口 朱里	山崎 愛奈	後藤 大生
2年生	松田 陽翔	舟山 旬	萬澤 優衣	
3年生	稲岡 あさひ	大畠 勇人	田中 奏太	成瀬 彩葉
4年生	戸野 陽葉	岡部 紗來	小門前 結菜	
5年生	北岡 心花	島田 直輝	中世 沙奈	乙地 志乃
6年生	林 真衣	野澤 美咲	南 友理	

【秋季火災予防運動防火（防災）ポスター】

小学校4年生の部	小学校5年生の部	小学校6年生の部
銀賞 谷口 詩依	金賞 塚 麻裕	金賞 山澤 有結
	銅賞 小門前 彩夏	銅賞 太川 せりな

【県交通安全ポスターコンクール】

小学校高学年の部 佳作 6年生 田村 凜音

【第44回児童図画コンクール】

準大賞 6年生 若松 真衣 奨励賞 4年生 清水 麻結

—— 保護者のみなさまへ ——

◇ 冬期休業中ならびに週休日の“緊急連絡”について

12月24日（金）は2学期の終業式，1月11日（火）は3学期の始業式です。

その間，学校は冬期休業となり，年末・年始を迎えることもあって，ご家庭ではおでかけの機会が多くなるのではないのでしょうか。また降雪，凍結等の悪天候や厳しい寒さなども予想されます。

学校も，12月29日（水）～1月3日（月）の年末・年始の期間，職員は勤務しておりません。ご家庭でも新型コロナ，インフルエンザ等の感染症対策も含め，ご家族や子どもたちの安全確保には十分気をつけられることと存じますが，万一，事故や事件等で緊急連絡の必要が生じた場合は，次の連絡先にお知らせください。

なお，週休日（通常の土・日曜日）についても同様のご対応をお願いします。

志賀町役場 32-1111

ご理解とご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。